

本社コーヒー豆小売部をリニューアル

卸売部を東区七曲町に移した一九六一（昭和三十六）年、当社は最新式サロームエクスプレッソ熱風焙煎機を導入して品質の向上と均一化にいち早く取り組んでいます。

その後も、セミオートマチック大型焙煎機（一九七三〥昭和四十八年）や大型ローラーグラインダーミル（一九七五〥昭和五十年）など、常に時代の最先端をいく機械の導入に力を入れてきました。

それらで培われたノウハウはかつて運営していた南区鶴田の「喫茶&レストラン 愛と憩いのカフェプラザグリーンカップ」を改装した焙煎工場にいかんなく注ぎ込まれています。この店の成り立ちや改装されるまでの経緯は別の章で後述します。

現在、この焙煎工場は社内的に「工場」ではなく「南営業所」と呼ばれています。その理由も後に触れていきます。

当社は一九七四（昭和四十九）年、東区七曲町から中



和田昌信氏略伝 ～珈琲に生きる～ 1974(昭和49)年作成